

データヘルス・予防サービス見本市2020

保険者による共同保健事業の 事例報告

2020年12月1日

三菱鉛筆健康保険組合

常務理事 成海良宏

▶ 共同保健事業「減量キャンペーン型特定保健指導モデル実施」

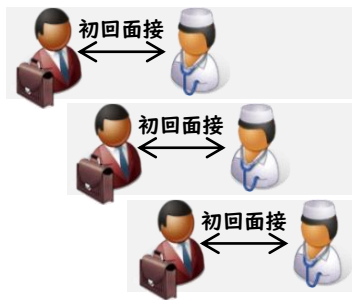
- 特定保健指導実施率の伸び悩みは喫緊の課題であり、また生活習慣病を要因とする医療費高騰にも対策が必要であるが、財政面・職員数等の制約が大きいのが実状。
- そのため、効率的・効果的な保健事業の実現を目指し、「減量キャンペーン型特定保健指導モデル実施」の複数健保での共同実施に取り組んだ。

■ 概要図

共同実施

初回面接

- ・全健保統一スケジュール
- ・複数の実施機関で連携



減量キャンペーン (12週間)

- ・事務局から健康コラムの配信
- ・参加者による週1回の体重・腹囲報告 ⇒ ポイント獲得
- ・獲得したポイントで賞品GET!
- ・▲2kg・▲2cm達成でさらにQUOカードもGET!!

マイナス2・2チャレンジのご案内

あなたは健康診断の結果、健診時に比べて
体重マイナス2kgかつ腹囲マイナス2cm
のダイエットが必要です。

そのため、健康保険組合が実施するプログラムにご参加いただけます。

達成した方にはもちろん
QUOカード1,000円分を進呈!!



3ヶ月後評価

▲2kg・▲2cm
達成!!

▲2kg・▲2cm
未達成

▶ 成果の概要

年度	平成30年度	令和元年度
参加健保数	6健保	12健保
実施スケジュール	初回面接:11~12月、継続支援:1~3月	第1期 初回面接:8~9月、継続支援:9~12月 第2期 初回面接:11月、継続支援:12月~3月 第3期 初回面接:2月、継続支援:3月~6月
対象者数	197名*	745名*
3ヶ月後の減量成果	2kg減量達成者の割合:58%	同:49%
特記事項	平成30年度厚生労働省データヘルス推進事業採択事業	令和元年度厚生労働省データヘルス推進事業採択事業 (第1期~第2期のみ、4健保は対象外)

* 動機づけ支援等も含む

■令和元年度成果

体重

初回面接時 +0.2kg → 終了時 ▲1.5kg
⇒ 継続支援期間の変化 ▲1.6kg
▲2kg達成者 **49%**

腹囲

初回面接時 +0.5cm → 終了時 ▲1.1cm
⇒ 継続支援期間の変化 ▲1.5cm
▲2cm達成者 **50%**

期間中に
取り組んだこと
(n=232)

91%が食習慣改善



75%が運動習慣改善



参加者
満足度
(n=232)

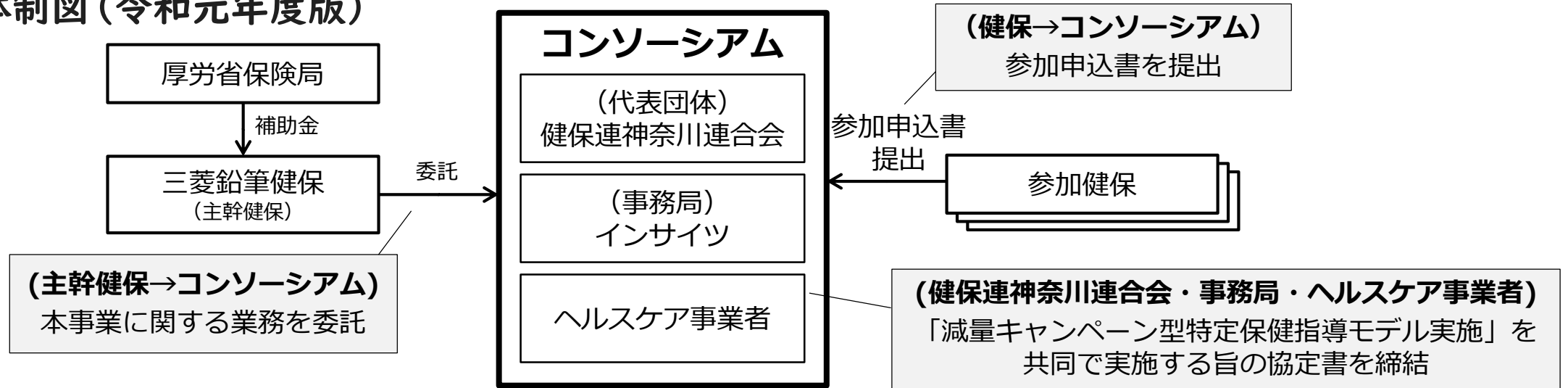
88%
参加して良かったと
思う/少し思う

88%が
プログラムに満足

▶ コンソーシアムによる共同保健事業の運営方法

- 本事業の運営は、参加健保及びヘルスケア事業者等が参加するコンソーシアム方式を採用、年2～3回の運営委員会を開催して参加健保間のコミュニケーションを図った。

■ 運営体制図（令和元年度版）



■ 事業運営委員会

事業の進捗共有等に加え、「モデル実施」を効果的・効率的に進めるための情報交換を実施。これにより、共同保健事業のメリットを最大限に活かし、かつ次年度以降の運用に向けた課題抽出の場を創ることができた。



▶ 健保担当者の声、共同保健事業のメリット

■ 本事業に参加した健保担当者の声（一部抜粋）

- 地方工場では、これまで初回面接に出向いてもらえず、自らが予約して医療機関に赴く必要があったが、複数の健保が共同で取り組んだことによって、地方の工場でも初回面接を行うことができた。
- 新たな取り組みにはなかなか踏み出しにくいのが、共同実施によってハードルが下がった。
- 他健保といろいろな意見交換ができたことが有益であった。
- 管理システムで他健保の進捗状況が分かるため、良い意味で競争意識が芽生えた。

共同保健事業のメリット

- ① 共同の事務局を設置し、企画・運營業務を一元化することにより、健保職員の負担が軽くなる
- ② 固定費を共同で負担することによって、費用の抑制が可能になる
- ③ 少人数でも参加でき、事業評価がしやすい（全体評価と個別評価の比較）
- ④ 運営委員会による情報共有、意見交換が可能

▶ 令和2年度以降の運営体制

- 令和2年度から、都道府県を問わず広域で共同保健事業を進める組織として再組成し、活動を継続・拡大しています。

名称	モデル実施コンソーシアム
目的	複数の医療保険者及びサービス事業者が連携し、共同で特定保健指導「モデル実施」を実施することにより、特定保健指導に係るコストを抑制しながら、適切な成果を得られる事業を開発・運用する
活動概要	<ul style="list-style-type: none">医療保険者に対するモデル実施の展開、及び付随する事業の実施運営委員会の開催（モデル実施及び周辺サービスに関する情報提供、会員間の意見交換等）その他、付随する活動
会員数	23団体 ※令和2年11月末時点 ⇒保険者会員：16（単一健保14、総合健保1、共済組合1）、事業者会員：3、協力団体：4
会費	無料
令和2年度活動実績	<ul style="list-style-type: none">令和2年度特定保健指導同 運営委員会 第1回：令和2年8月5日 ※オンライン形式による開催 第2回：令和3年3月予定（幹事：三菱鉛筆健保）

